

タイトル (活動概要)	63 モーモーリング (手つなぎ人間輪くぐり)	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」⑧ ⑭ 「集団づくり」⑩		
タイミング (実施時期)	4月(学年始め)	活動場所	体育館	所要時間	20分
対象学年	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級、グループ (8人程度)	活動場面	体育、集会の活動 キャンプファイアー
活動のねらい	〈背景〉決まった友達としか遊ばず、様々な友達とふれあうことが少なくなっている ・人の温かさや、みんなで協力して取り組むことの楽しさを味わうことができる ・たくさんの友達とふれあい、手の温もりを感じることができる				
準備	・フラフープ ・タンバリン ・(ストップウォッチ)				
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入 ・グループごと(学級全員)で、手をつないで輪をつくり、大きくなったり小さくなったり、リズムに合わせて歩いたりする		・タンバリンのリズムに合わせて行う		タンバリン	
2 主活動 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> みんなで協力してフラフープを一周回そう </div>					
○手をつないだ人間の輪にフラフープを通し、なるべく短い時間で1周回する ・逆回しをする ・互いの回し方を見合う ○作戦タイムをとり、短時間で回すためにはどうしたらよいか話し合う ○再度チャレンジする		・進んで手をつなぐことができるよう教師と一緒に活動する ・夢中になって取り組むことができるよう、タンバリンのリズムを変えるようにする ・協力することの大切さに気付くことができるよう、作戦タイムを設ける ・自然と手をつなぐ力が強くなっていることに気付くことができるよう、声をかける(ふり返りの視点につなげる)		フラフープ (ストップウォッチ)	
3 ふり返り ・ゲームの感想を発表しあう ・ゲーム前とゲーム後の自分のちがいについて発表する ・友達の手を握って感じたことを発表しあう		・ふり返りの視点を明確にできるよう、友達とつながることのうれしさや楽しさに気付いた発言を称賛する			
配慮事項		・学級編成替えのあった学年のスタート時、まだ友達関係が深まっていないときにアットランダムなグループ編成で行うことで、自然にふれあうことができる ・グループ編成は子どもが納得する形で行うが、教師が様々な友達とつなげたいという意図をもって指示することがその後の人間関係につながる ・学級の友達関係が良好になってきたら、学年集会等で学級対抗で行うことも可能 ・みんなの力で速く回そうという助言をしてタイムを取ることも考えられる ・手をつなぐことで温もりを感じることができるような声掛けをする			

